

業種・食品種類	水産加工	売上規模	10～30億円未満
効率化工程	生産工程		
効率化	後工程, 機械・ロボット		

水産食料品製造業	北海道
----------	-----

後工程の自動化により人員削減、製造能力の向上に効果。充填機の更新も生産性向上に寄与

■ 従業員の状況

従業員数		従業員の部門別構成比		
正社員・契約社員	パート・アルバイト	製造部門	間接部門	その他
11名	90名	90.0%	10.0%	-

■ 生産関連の状況

生産量／稼働時間	生産量	工場稼働時間
	50,000個／日	8時間／日

コスト構造 構成比	原材料費	人件費	減価償却費	その他
	約50%	約30%	約7%	約13%

製造工程における 設備・機械対応比率	製造工程		
	[原材料投入から製品完成まで]	うち、設備・機械対応	
	12	7	58.3%

設備・機械担当人数	設備・機械担当者計 [メンテを含む]	設備・機械メンテ 担当者	機械・設備導入・ 整備選任	その他
				担当 -
現状	- 人	- 人	- 人	- 人
5年前	- 人	- 人	- 人	- 人

！生産性向上におけるPoint

- ✓ 包装工程の労力削減のため、包装を含めた一連の後工程を自動化し、人員削減や製造能力の向上に効果
- ✓ 充填機の更新により歩留まりが向上し、生産性向上にも寄与

一連の後工程を自動化し、人員削減や製造能力の向上に効果

水産加工品製造業の同社は、基幹製品である鮭フレークのシュリンク包装を手作業で行っていたが、製造量の増加に伴い、従業員の残業時間が増加していた。

このため、シュリンク包装、箱詰め、封入、重量チェック、印字の一連の後工程を自動化し、鮭フレーク製造に必要な人員を7人削減した。削減した人員を出荷など他の業務に配置転換したことで、全体の作業効率向上につながり、製造能力は従来の5万個／日から、5.5万個／日まで向上した。

充填機の更新により歩留まりが向上し、生産性が向上

2台の充填機のうち1台を更新したことで歩留まりが0.5～1%程度向上し、生産性向上につながった。機械設備の導入にあたっては、従業員の平均年齢上昇なども考慮して、機械メーカーに対し操作が簡単で扱いやすく、シンプルかつ丈夫な設計を要望したことから、作業効率の向上に加え、従業員の負担軽減にもつながった。